

# 令和 7 年度 事業計画書

社会福祉法人ももやま福祉会



# 令和 7 年度「社会福祉法人ももやま福祉会」事業計画書

## 【理 念】

「人として豊かに生きる」

## 【方針】

### ○ 経営の安定化

令和 6 年度は、各事業の報酬の見直しで、運営の安定化を図れる所までできています。現状では新規利用希望者獲得が難しくなっており、新規利用者の獲得よりも、既存の利用者の様々なニーズに対して支援を丁寧に行うことで、収入の安定化を図り、施設整備積立が行えるようにしていきます。

### ○ 設備メンテナンスについて

大規模な改修としては懸案事項であった、向島の空調設備の整備が終わり、大規模な改修は一段落したと思われますが、建物自体も老朽化してきており、定期的なメンテナンスが必要です。さらに建物自体の建て替え工事も視野に入れていかないといけなくなってきました。今後は施設整備積立金を毎年積み立てていき建て替えに備えていきます。

### ○ 人材の確保について

事業の安定運営のためにも人材の確保が必要です。求人サイトの活用やホームページの充実や処遇や職場環境の整備に努めます。

また、職員の育成について、様々な経験を積むことで、いろいろな事業でも活躍できる職員の育成を目指していきます。また、次世代の人材の育成を図り、事業の継続ができる職員の育成を目指します。

### ○ 危機管理

利用者の生活を守るために、災害や感染症の蔓延などの危機対応について整備、見直しを続けていきます。

### ○ 給食

業務委託を行っているワカースコープと、給食を通じて利用者の生活を守っていくように協力し合いながら、提供を行っていきます。

○ 交通安全管理

毎日の通所に欠かせない送迎車の安全な運行を行います。

○ 地域との連携

トップスワイズメンズクラブ京都部の方との交流事業に参加します。  
手づくり市で地域の方や近隣の福祉施設とのつながりを作ることを目指します。

京都市南部自立支援協議会に参加します。

地域生活支援センターとの連携を図ります。

和紙体験として保育園児の卒業証書作りに協力します。

各種団体の施設見学を積極的に受け入れします。

○ 学校との連携

大学生や専門学校の資格取得実習の受入れを実施します。（社会福祉士・介護福祉士・保育士）

支援学校の見学・体験実習の受け入を実施し、新規利用者の受入を目指します。

○ 広報活動について

ホームページの整備を目指します。

○ 後援会

後援会を通じて利用者の方をお願いしている施設整備積立金を有効活用し、建物、設備の補修や更新を進めてきます。

## 活動方針

### ○ 生活介護事業（ぐんぐんハウス、ぐんぐんハウス枷辻）

下請け作業、和紙作業、歩行など今まで取り組んできた活動を続けて、健康・体力・歩行の能力変化に対応していき、毎日の支援を通じて、意思表示、自己決定など主体的な行動が出来るような支援をします。また、安心、安全な環境で、日常の支援を丁寧に、利用者のニーズに添える支援をすることで、その人のためになる支援を考えていきます。

### ○ 共同生活援助（グループホーム）、短期入所事業（短期入所ぐんぐんハウス、共同生活援助ぐんぐんハウス醍醐、共同生活援助ぐんぐんハウス枷辻）

保護者の方の高齢化により、ご自宅に一時帰宅することが難しい方が増えてきています。また健康面での注意が必要な方も増えてきています。

利用者、保護者のニーズに応えられるように職員体制の整備が求められており、職員が複数の事業を兼務することで職員体制の確保に努めます。

### ○ 居宅介護事業（居宅支援事業所ぐんぐんハウス）

グループホーム利用者の重度化により、身体介護へのニーズが増えてきています。増えていくサービス量に対応できる職員体制と次世代を担っていく人材づくりを目指します。

### ○ 計画相談事業

利用者の大きな変化により、必要とされるサービスが大きく変わってしまうケースもあります。利用者が安心して利用出来るように計画作成をします。

また、計画作成にあたり、個人情報保護に努めて作成します。また更新時には関係機関と連携を図っていきます。